

事業所名

児童発達支援 EGG

支援プログラム

作成日

R7年

1月

30日

法人（事業所）理念		「子どもが真ん中のかかわり」					
支援方針		のびのびと子どもらしく過ごす事で社会で人と関わりながら生きていく力を育んで行けるように支援します。 一人ひとりの個性・特性を大切にします。 温かい集団体験の場所と丁寧な個別支援を行なっていきます。					
営業時間		9時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 来所時の検温や顔色の観察、言動から健康状態を把握します。体調の変化があれば受診を促す、保護者へ報告する等適切に対応します。 靴をしまう・手洗い・うがいを行う・衣服の着脱・荷物を片付ける等自分で出来る様に支援します。 挨拶やお願いの仕方など、人との関わりの中で必要となる生活スキルを学びます。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 視覚・聴覚・触覚などの感覚を十分に活用できるような運動あそび行ないます。 感覚の特性・過敏さや鈍麻への対応を行ないながら感覚あそびを行ないます。 マッチングやピンチバサミなどの道具を使って目や指先の運動を行ったり遊びを通して体の使い方を学びます。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 季節や文化を楽しめるようなあそびを行ないます。 認知や行動の手がかりとなる数量・大小・色などが習得できるあそびを行ないます。（個々の特性に配慮しあそびを取り入れます） 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> あそびの中での体験を通して具体的な事柄や体験と言葉の意味を結びつける等言語の習得が出来る様に支援します。 1対1や少人数での関わりの中で相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりするなどの言葉が表出出来る様に支援します。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 小集団の中で集団に参加するための手順やルールが理解出来るように支援します。 子どもの感情や不安に寄り添い周囲の人たちと安定した関係を継続するための支援をします。 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳・送迎時・LINE等で子ども達のその日の状況を伝え、気になることがあれば連絡や聞き取りを行います。 兄弟児を含めた子育てに関する困りごとの相談にのります。 子どもの発達上の課題に対し、家族と連携して支援に取り組みます。 					
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 地域の公園や市民センターなどの公共施設を利用し、地域資源を積極的に活用しています。 保育園や幼稚園、福祉サービス等の関係者と連絡を取ったりケア会議等を行って情報提供や多角的な支援を行います。 					
移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 就学に向けての情報提供や支援を行ないます。 保護者の意向に対して、現段階での発達の評価を行い、保護者の意向確認や情報の提供・共有を行います。 保育所や幼稚園などの他関連機関との連携を図り、支援を行います。 					